

おしえて！エコチル先生、今回は、NHKのディレクターで、数々の環境番組を制作してこられた西川美和子さんにお話を聞きます。西川さんはエコチル調査の戦略広報委員もつとめられています。

ー 西川さんは、NHKに入られて、なぜ環境に関する番組を制作するようになったのですか？

もともと環境問題には学生の頃から興味がありました。でも私がNHKに入局した1980年代後半は、環境問題といえば『自然破壊』が最大のテーマでしたので、当時はたとえばブナ林の伐採問題のニュースリポートを作ったりしていました。その後、次第に環境問題が市民の間でも話題となる時代になってきましたので、アメリカの環境問題のシンクタンクであるワールドウォッチ研究所と「地球白書」シリーズを2年間かけて制作したりしていました。しかし、自分自身出産を経験し、子どもの世代のためにできることはなんだろうか、と考えるようになったのです。その当時、地球温暖化が非常に差し迫った重大な問題でしたので、この複雑な問題をできるだけわかりやすく皆さんに伝える必要があると思い、温暖化についての番組を多く作りました。

ー 今はどのようなテーマを取り上げているのですか？

最近は映像による情報発信の手段として、テレビ以外にインターネットが非常に身近になってきました。テレビの番組は、ふつう一度か二度放送されると、もうほとんど皆さんの目に触れることはありません。それではもったいない、と、これまで放送された環境関係の番組を集めたインターネットの動画ポータルサイト『NHKエコチャンネル』を立ち上げました。2010年4月から配信が始まり、現在では日本語で約1300本、英語で約200本の映像を無料で見ることができます。

- ー インターネットならではの試みですね。ところで、西川さんご自身も子育てをされて、お母さん方に何かアドバイスはありますか？

今年8歳になる双子の息子たちがいます。息子たちを見ていると、子どもは一人一人とても違う個性を持っている、ということを実感します。というのは、双子にもかかわらず、性格も好みもまったく異なるのです。一人は野菜が大嫌い、もう一人は何でも食べる、という具合に。これはもって生まれた個性であって、親がこうしたわけではありません。育児に悩むお母さん、お父さんには、子どもが思った通りにならなくても、親のせいではない、ということを知ってほしいと思います。

- ー エコチル調査の「戦略的広報委員会」の委員にもなっていますが、エコチル調査についてはどのような期待をお持ちですか？

これまで、ダイオキシン問題や環境ホルモンの問題がさまざまにメディアに取り上げられてきましたが、本当のところはどのような影響があるのか、わからなくなってきました。エコチル調査は、どのような化学物質にどのような健康影響があるのかを明らかにするための、日本初のデータが出る貴重な調査だと思います。ぜひ一人でも多くの方にご参加いただいて、実りの多い調査にしていただきたいと思います。

- ー 西川さん、本日はどうもありがとうございました。

(2012年2月24日)

■今月のエコチル先生

西川美和子 さん

NHK グローバルメディアサービス番組制作部
チーフ・プロデューサー / ディレクター